

旧年中は多大なるご厚情を賜り、誠にありがとうございました。
本年も宜しくお願い申し上げます。

旧年の主な取り組みとして、元日に発災した石川県能登半島地震では、医療救護班三班、災害医療コーディネートチーム、こころのケア班一班、被災地医療機関支援（市立輪島病院）等、継続的に職員を派遣し、被災地支援を行いました。

また、診療体制においては、通院治療センターの拡充、人工関節センターの開設、呼吸器内科の初診診療日の拡大・最新の診断技術「クライオバイオプシー」の導入、耳鼻咽喉科における甲状腺内視鏡手術の開始、循環器内科外来の移設・診療の充実等に取り組み、体制強化を図りました。

十月には、西側敷地にアメニティ棟を開設しました。この新棟には、コーヒーショップ及び敷地内薬局を誘致し、患者さんの利便性向上に努めました。

本年も地域に必要・信頼・期待される病院になるというビジョンのもと、職員一同精進し、地域の皆様に安心・安全で、質の高い医療の提供に努めてまいります。

皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和七年一月



成田赤十字病院

院長 青墳 信之